

# 長崎大学

## 統合アカウントと利便性の追求

長崎市内3地区にキャンパスを展開し、9千名以上の学生が学ぶ長崎大学。平地が少ないという地理的な条件から3箇所にキャンパスが分かれている状況の中で利便性の追及、データ管理、運用の効率向上を目的に、情報リソースの管理体制を情報基盤センター(事務局学術情報企画課)に集約、一元管理体制を実現している。

することによって諸問題は解決されることになった。管理側の窓口は一本化され、全学生、教職員に統合化されたIDが発給された。その結果、様々な部分で省力化されると同時に、コスト低減が図られ、サービスは拡張して提供されることになり利便性の大幅な向上につながった。

務手続き全般が省略でき、スピード化が図られた。さらに掲示板やスケジュール参照などの基本的なコミュニケーションツールも、安全に運用できるようになっている。

### 事業者から好評

これら情報基盤の整備は、富士通株式会社九州支社が事業者として構築したものである。『アカウントマスター for LDAP』は、既存ネットワークに対する親和性の高さが評価され、アカウントの統合認証システムに組み込まれている。

『アカウントマスター for LDAP』の日常的な管理業務はWEBブラウザでのみの操作となるため、管理作業の効率化が図られ、管理担当部門、管理者の負担を大幅に低減することが可能となるのも同様に高く評価された点である。

### 情報基盤の統合化へ

情報基盤が一元的に集約されるまで、サービス、システムは個別に稼動していた。連動させるにもエクスポート、インポート作業が発生するなど、各システムに対する専門知識が必要となっていた。また、利用者は複数のシステムでアカウントを作成するので、複数のIDと認証用パスワードを持っていた。このような状況は運用コストの増大、管理の煩雑さにつながり問題となっていたが、システムを統合し、アカウントを一元管理

### 統合化のメリット

教職員の人事、給与系のシステムや教務事務系のシステムも統合化された。統合アカウントによる連動処理が可能となったことから、各種事務手続きを利用者に対してオンラインで提供できる環境が整った。オンライン上で行った手続きは、すべてリアルタイムで処理されるため、これまでの申請書類の受領処理のような手続きが一切排除された。学生の場合、学籍情報とアカウント情報が完全に対応しているため、学務手続きや成績の参照などをWEBで実行でき、事

### シングルサインオンの実現

利便性の点では、ポータルサイトからのログインで、承認されたサービスのすべてが利用可能となる「シングルサインオン」環境の提供は大きい。学生においても利用できるサービスが多数に及ぶため、シングルサインオンによって各サービスを再ログインの必要なく、シームレスで利用できる利点は大きい。例えば、学習システムで端末にアプリケーションを供給するためのADサーバの認証も、個別に行う必要はなく、シングルサインオン環境でシームレスに稼動する。

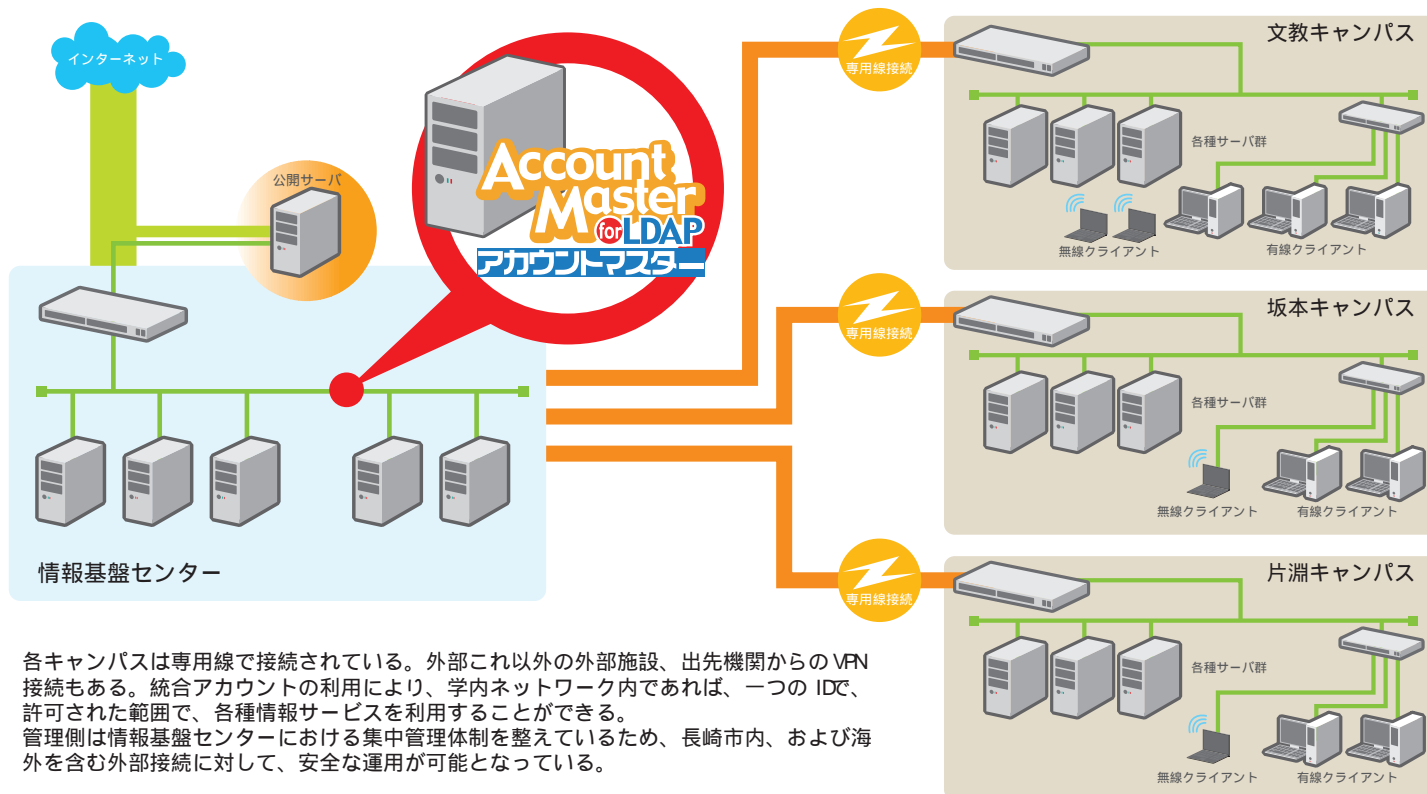
### DATA (2011年5月)

学部数: 8学部

学生数: 7,674人

キャンパス数: 3

S事業者: 富士通株式会社九州支社



各キャンパスは専用線で接続されている。外部これ以外の外部施設、出先機関からのVPN接続もある。統合アカウントの利用により、学内ネットワーク内であれば、一つのIDで、許可された範囲で、各種情報サービスを利用することができる。管理側は情報基盤センターにおける集中管理体制を整えているため、長崎市内、および海外を含む外部接続に対して、安全な運用が可能となっている。